

# 令和4年度 第5回富良野市社会教育委員会議

と き 令和 5年 1月25日 (水)

18時30分より

ところ 富良野市複合庁舎1F会議室D

欠席委員：高田委員、永盛委員、大橋委員、平間委員、橋場委員  
以下副委員長の司会にて進行

## 1. 委員長あいさつ

## 2. 報告事項

- ・ 10月20日 (木)  
～ 21日 (金) 北海道公民館大会  
(教育長・遠藤副委員長、桑島課長、藤野参加)
- ・ 11月 1日 (火)  
～ 3日 (木) 富良野市民総合文化祭
- ・ 11月21日 (月) 富良野市子ども未来づくりフォーラム
- ・ 11月23日 (水・祝) 富良野市青少年表彰式
- ・ 11月25日 (金) 上川管内社会教育委員  
・ 公民館運営審議会委員合同研修会 (東川町)  
(教育長、天日委員長、中田委員、桑島課長、藤野参加)
- ・ 1月 8日 (日) 令和5年富良野市はたちを祝う会

## 5. 議 題

- (1) 令和4年度富良野市社会教育事業の点検と評価について  
○事務局から今後の作業内容を説明

### 事務局

・本日と次回の会議については、今年度の社会教育事業の点検評価の作業をお願いすることになる。

本日は別紙の今年度事業の進捗状況資料を参照、不足していることや記載漏れ、もっと詳細情報の記載が必要な場合はこの場で聞き取りをし補完します。

その上で資料を持ち帰りいただいて、別紙評価シートに評価を記載していただく。

評価内容については、各委員の感想・評価、課題や改善策などの意見をいただき、それを集約して次回の会議の資料とします。

最終的には、別紙資料「令和4年度富良野市教育推進計画 (単年度計画)」について、加除の必要な事業や取り組みを文言の整理を含めて次回の会議でご意見をいただきたいと思っております。

まずは事務局より事業の概要を説明します。

※教育推進計画の基本施策・実践項目と進捗状況資料の同項目について一致。項目ごとに説明を行う。

## 【家庭教育】

- ・事務局より実践内容について説明

田畑委員

- ・資料について誤字脱字が散見されるため、確認願います。

原田委員

- ・成果項目について、成果の人数はどの事業についてもいれるべき。すべてを見ているわけではないので、その数字が評価につながる。

事務局

- ・できるだけ入れるようにはしているが、抜けている部分については補足します。

副委員長

- ・児童センターの無料開放について、児童館の利用はそもそも無料で利用できる施設であるため「無料」との記載はふさわしくないのではないか。

事務局

- ・次年度の以降の計画からは修正します。

副委員長

- ・地域学校協働活動の進捗状況についての記載は？

事務局

- ・有償、無償含め各学校で地域や市外の外部人材を学校の授業の中に入れて、様々な学びや体験活動を進めております。詳細の実績数については、年度末に向けて各学校より実績をいただくこととなっていますので、現時点での実績数は記載しておりません。
- ・評価するときに必要な情報かと思いますので、記載するように検討いたします。

桑原委員

- ・ネットトラブルについての小冊子の配布についての効果は、もちろん大事なことではあるが、家庭での使い方や教育の部分も大きくその効果がどれくらいなのかはわからない。

副委員長

- ・ネットトラブルは子どもだけでなく、今や高齢者もあり得る時代になった。全世代を対象とした取り組みが必要ではないか。

田畑委員

- ・子どもたちはゲームでも色んな人とつながることのできる時代。各家庭ごとのルールもあり学校での指導では限界がある。ゲームやスマホの利用の仕方、夜中遅くまで使い寝不足になり不登校につながることもある。行政としてアウトメディアにつながるような全市的なアプローチが必要ではないか。

事務局

- ・よく研究し対応してまいります。

## 【青少年教育】

桑原委員

- ・子ども未来づくりフォーラムについて、委員長の講評や各方面から発表が素晴らしか

ったとの意見をいただく。確かに年々レベルが上がって素晴らしいものになっているが、この取り組みが小学生だけの取り組みで終わってしまっているのはもったいない。

・富良野高校の見学旅行の報告会を見させていただいたが、それに負けないくらいの発表を未来づくりフォーラムの小学生はしていると思う。

・昔は中学生がこの事業に参画していた時もあったようだが、この取り組みが小中高とつなげていくことができれば、子どもたちや富良野市にとっても財産になると思う。

委員長

・桑原校長と同意見である。

田畑委員

・中学校は1・2・3年とそれぞれにカテゴライズされた体験学習があるが、未来づくりフォーラムのような取り組みはよく考えればできない活動ではないと感じる。

・小学生だけでなく中学生ももっとウェルカムというスタンスでいてほしいと思う。

事務局

・小中高の連携はありだし、今の取り組みが完成形ではなく、いろんな可能性もあると思っている。

・現在の作りとしては対象が全小学校となっていて、発表当日は午前中で発表を終わらせて給食の時間までに戻らなければならないという制約の中でやっているが、その形については今後も少しずつ変えながらやっていくことはできると考える。

桑原委員

・扇山小校区の子ども会は現在どのようになっているか？

事務局

・扇町南町の子ども会が活動をしている。

・現在市内の単位子ども会については、コロナ禍ということもありほとんどの活動がストップしてしまい、夏休みのラジオ体操や地域のごみ拾いなどをやっているところが多い。

・今後、子ども会の必要性も含めた議論、そこに携わる育成員の大人の研修、組織率などが課題となっていく。

## 【成人・高齢者教育】

桑原委員

・社会教育分野は範囲がものすごく広い。東神楽に「東神楽大学」というものが閉校校舎を利用して民間主導で始まった。民間の力をうまく使い、今後事業の独立も必要などころではないか？

・ことぶき大学の年齢要件は？見直しが必要ではないか？

事務局

・研究してまいります。

・定年延長などで60歳という年齢はまだ働いている年齢であります。60歳＝ことぶきということも今の時代に即していない部分でもあるかもしれない。今後検討します。

## 【評価について】

・評価のA B C Dについては集約したときにどうまとめるのか？自分の主観で評価する

が、わからないで何となく付けた評価が全体の平均に影響してくるが。

事務局

- ・委員の皆さんもすべての事業を見ているわけではないので、わからない部分のA B C Dはつけなくてもいいです。
- ・コメントを記載する部分は、配布の資料や自分が見たことなどを参考に、これからやるべきこと、必要ないこと、どう改善が必要なのかなど、たくさんのご意見をいただきたいと思っています。

※質疑応答については以上

事務局

- ・次回会議の前に評価シートは一度回収してまとめたものを資料としてお出しします。回収については2月15日(水)までに社会教育係までお願いします。メールでデータを送ることができますので、その場合は連絡ください。

**社会教育係 藤野 : [fujino.shouta@city.furano.hokkaido.jp](mailto:fujino.shouta@city.furano.hokkaido.jp)**

## 6. その他

(1) 今後の主な日程

<教育振興課事業>

- 2月 9日(木)  
～10日(金) 地域生涯学習実践交流セミナー(藤野・福士参加)
- 3月 2日(木)  
～3日(金) 上川管内社会教育・社会体育実践研究セミナー(藤野・福士参加)
- 3月25日(土)  
～27日(月) 富良野市子ども会リーダー研修会(後期)(国立大雪青少年交流の家)

以上